

(別紙4(2))

事業所名 グループホーム大喜

目標達成計画

作成日: 令和 2 年 4 月 20 日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	3	運営推進会議を活かした取り組みで、家族への継続的な働きかけし、参加を得る。	ご家族へのいろんな手法で、継続的に呼びかけを行い参加率を高める。	電話・書面にて連絡・来所時に促すなどの手法を行う。年間スケジュールなどを事前にお渡しする。	12ヶ月
2	6	運営に関する利用者、ご家族意見の反映で、家族間交流が限られた範囲になっている。	入居者・ご家族・成年後見人との交流機会を増やす、意見の吸い上げをしていく。	入居者様と日頃のコミュニケーションから要望など伺った場合、個人記録への記入にて吸い上げ、ご家族・後見人の方とは電話・面会時などに情報共有し意見を吸い上げる。また、イベントを催し交流をし関係づくりに励む。	12ヶ月
3	13	災害対策として、人員体制が少ない夜間の防災対策を現状よりも効果的な取り組みが必要。	夜勤者・宿直者以外の外部協力者の明確化と防災対策の強化。	夜間想定 of 防災訓練の実施と、常日頃からの防災対策(見回り・外部協力者との連携)をしていく。	12ヶ月
4	18	入居者様の日常的な外出支援が、限られた範囲の現状を工夫する必要がある。	日常、気候が良い時には足軽く散歩・買い物ができるように工夫・スケジュールを組み外出機会を増やす。	各入居者様の生活リズムに合わせ、過ごし方や業務の見直しを行い、外出対応ができるようにする。また、ご家族の協力も仰げるようにする。	12ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。